【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-181510(P2002-181510A)
【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)
【出願番号】特願2001-318358(P2001-318358)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０１Ｂ　 9/02
　Ｇ０１Ｎ　15/02
// Ｇ０１Ｊ　 9/02
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｂ　 9/02
　Ｇ０１Ｎ　15/02　　Ｃ
　Ｇ０１Ｊ　 9/02

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月15日(2004.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　（Ａ）第１と第２と第３の光ファイバと、
　（Ｂ）第１と第２のカプラであって、前記第１のカプラは、前記第１のファイバを介して放射光を受光し、前記第２のファイバを介して第１放射光部分を与え、前記第３のファイバを介して第２放射光部分を前記第２のカプラに与えるように構成された、第１と第２のカプラと、
　（Ｃ）第４と第５の光ファイバであって、前記第４と第５の光ファイバの各々は、前記第２のカプラからの放射光を受光し、他方のファイバが受光できるように、互いに放射光を送るように構成されている、第４、第５の光ファイバと
を有することを特徴とする干渉システム。
【請求項２】
　（Ｄ）第１と第２のコリメータ
をさらに有し、
　前記第１のコリメータは、前記第２のカプラから前記第４のファイバを介して放射光を受光するよう結合され、
　前記第２のコリメータは、前記第５のファイバを介して前記第２のカプラからの放射光を受光するよう結合される
ことを特徴とする請求項１記載の干渉システム。
【請求項３】
　前記第１と第２のコリメータは、前記第５の光ファイバが受光できるように前記第４の光ファイバからの放射光を伝搬させ、前記第４の光ファイバが受光できるように前記第５の光ファイバからの放射光を伝搬させるよう、整合している
ことを特徴とする請求項２記載の干渉システム。
【請求項４】
　（Ｅ）一対のコリメータをさらに有し、
　前記一対のコリメータの各々は、前記第４と第５の光ファイバの内別々のファイバから

の放射光を受光し、互いに対して反対の伝搬方向に放射光を送るよう、結合される
ことを特徴とする請求項１記載の干渉システム。
【請求項５】
（Ｆ）前記第２のファイバからの放射光を受光するよう結合されたコリメータと、
（Ｇ）前記コリメータから離れて配置されたミラーと、
をさらに有し、
前記第２のファイバと、前記コリメータと、前記ミラーとは、前記第２のファイバから前記ミラーによって受光される放射光を、前記第２のファイバを介して反対の伝搬方向に送る基準アームを形成する
ことを特徴とする請求項１記載の干渉システム。
【請求項６】
（Ｈ）前記第２のファイバからの放射光を受光するよう結合された第３のコリメータと、
（Ｉ）前記第３のコリメータから離れて配置されたミラーと、
（Ｊ）前記第１、第２、第３のカプラから伝搬した放射光を受光するよう結合された検出器と、
をさらに有し、
前記第２のファイバと、前記コリメータと、前記ミラーとは、前記第２のファイバから前記ミラーによって受光される放射光を、前記第２のファイバを介して反対の伝搬方向に送る基準アームを形成する
ことを特徴とする請求項４記載の干渉システム。